

【県指定・有形文化財（建造物）】

にしだばし

# 西田橋

昭和28年9月7日指定



■ 所在地 鹿児島市浜町1-3

■ 所有者 鹿児島県

■ 特徴

西田橋は甲突川にかけられていた五大石橋の一つで、弘化3(1846)年に肥後(現在の熊本県)の石工、岩永三五郎によりつくられたアーチ式の石橋です。

平成5(1993)年の集中豪雨による洪水がきっかけとなり、平成12(2000)年に鹿児島市祇園之洲の石橋記念公園に移設されました。橋の長さは49.5m、通行部の幅は6.2m、高さ5.6m、アーチは4連で、側面下部が広がり、重量感と安定感があります。橋上の両側には和様の高欄が、柱には青銅の擬宝珠がつけられていました。

かつて城下町鹿児島 of 玄関口にあたり、参勤交代の通路であったため、他の石橋に比べて堅固優美で、橋の渡り口には御門が付けられていました。